

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392300154
事業所名	グループホーム六じょうや

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、すぐ裏のスーパーに買い物に出かけ、初詣、「世戸蔵」の散歩・瀬戸物祭りにも出かけている。地域の防災訓練にも参加し、施設は地域の福祉避難所に、瀬戸市から指定されている、入居者も地域の人がほとんどで、併設の有料老人ホームにも地域の人が入所している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	入居者・家族・地域代表・市職員・地域包括職員・職員が参加し6回の開催が確認された。入居者はほぼ全員が参加している。ヒヤリハットでは、薬の服薬日間違いが報告され、解決策として職員によるダブルチェックを採用した。毎回4～5名の職員が参加し、発表、質疑を受けている。家族からは、家族会での意見が発表されている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	今年、市の『福祉避難所』に指定され、その日の新聞には市内各事業者と共に、館長・管理者が映っていた。一旦避難所に行き、4.5日後には要支援者のレベルに応じ福祉避難所に受け入れる制度である。今年は認知症カフェを市に申請し、4月から開催する。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会は年2回開催され、ホーム便りは毎月個々の入居者ごとに作成・送付されている。その際、運営推進会議日程が報告され、「欠席される場合ご報告ください」と呼び掛けている。「病院はいやだ」と言う本人、家族の要望に応え、今年も看取りを行った。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○		